

功績をたたえて

町では、自治・社会・産業・文化等の発展に顕著な功績のあった方や他の模範となる善行をされている方を表彰しています。
令和2年度は幕別町功労者として12人の方を表彰します。

自治功労

蛭原 一治さん
忠類本町（71歳）



平成15年6月に忠類村農業委員会委員に就任され、平成20年の幕別町農業委員会との統合を経て、6期15年の永きにわたり本町の農業行政の推進に多大なる貢献をされました。この間、平成29年7月から令和2年7月まで農地部会長として、農業経営者の生活安定や農村環境の整備などに尽力し、地域農業の発展に寄与されました。

自治功労

瀧本 洋次さん
忠類白銀町（60歳）



平成18年2月に幕別町教育委員会委員に就任され、令和2年9月までの14年有余の永きにわたり地域とともにある学校づくりの推進に尽力し、本町の教育行政の振興に多大な貢献をされました。また、平成25年12月から平成27年1月までの間、民生委員児童委員を務められ、本町の社会福祉の増進に寄与されました。

自治功労

工藤 伸さん
札内あかしや町（88歳）



平成5年4月にあかしや南2公区公区長に就任され、27年の永きにわたり本町の自治振興に多大なる貢献をされました。特に、防災の分野においては、平成7年に公区内に自主防災組織を設立し、その防災活動の輪を他公区にも広げ、公区住民などの防災意識の向上に寄与されました。また、幕別町防災会議委員会委員を務められるなど、本町の防災体制の強化にも寄与されました。

自治功労

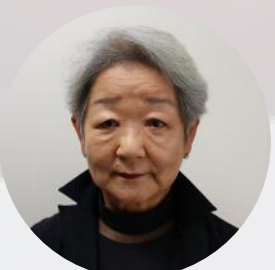
木川 東洋治さん
札内中央町（81歳）



平成12年10月に幕別町行政改革推進委員会委員に就任され、令和元年11月までの19年有余の永きにわたり本町のまちづくりに貢献され、この間、平成19年11月からは委員長として健全な行財政運営に寄与されました。また、平成18年7月から平成24年7月までの間、幕別町国民保護協議会委員及び幕別町防災会議委員を務められ、本町の防災体制の強化に尽力されました。

社会功労

若山 美子さん
札内桜町（75歳）



平成16年12月から15年の永きにわたり、民生委員児童委員として保護指導にあたり、その間、平成22年12月から3年間は幕別町民生委員児童委員協議会監事として活躍し、他の民生委員児童委員及び地域住民から信頼と尊敬を寄せられ、本町の社会福祉の増進に多大な貢献をされました。

社会功労

笠松 信一さん
緑町（79歳）



平成16年12月から15年の永きにわたり、民生委員児童委員として保護指導にあたり、その間、平成22年からは主任児童委員として活躍し、地域住民のみならず、児童生徒や小中学校などからも信頼と尊敬を寄せられ、本町の社会福祉の増進に多大な貢献をされました。

社会功労

故 橋本 直人さん
糠内（57歳）



昭和61年5月から34年有余の永きにわたり消防団員としての使命を深く認識し、災害の防除と住民の生命、身体及び財産の保護に尽力するとともに、災害活動においては迅速機敏な行動と的確な判断をもって被害の軽減に努め、地域住民の安全確保のために献身的な努力によりその職責を果たし、地域防災に貢献されました。

社会功労

原 美津子さん
旭町（71歳）



平成7年2月の女性消防団設立当初から、25年有余の永きにわたり消防団員としての重責を自覚し、自ら研鑽努力を惜しまず、町民の生命、身体及び財産の保護に努めるとともに、児童への防火及び防災意識の普及を目指し、啓発活動に尽力されるなど、その職責を果たし、地域防災に貢献されました。

社会功労

扇 明美さん
緑町（67歳）



平成7年2月の女性消防団設立当初から、25年有余の永きにわたり消防団員としての重責を自覚し、地域住民の防火及び防災意識の普及啓発活動に尽力するとともに、平成28年4月から令和2年3月まで女性消防団の部長を務められ、その職責を果たし、地域防災に貢献されました。

社会功労

津村 葉子さん
緑町（59歳）



平成7年2月の女性消防団設立当初から、25年有余の永きにわたり消防団員としての重責を自覚し、自ら研鑽努力を惜しまず、町民の生命、身体及び財産の保護に努めるとともに、児童の防火及び防災意識の向上を目指し、啓発活動に尽力されるなど、その職責を果たし、地域防災に貢献されました。

社会功労

坂本 ひろみさん
宝町（60歳）



平成7年2月の女性消防団設立当初から、25年有余の永きにわたり消防団員としての重責を自覚し、自ら研鑽努力を惜しまず、町民の生命、身体及び財産の保護に努めるとともに、地域住民の防火及び防災意識の向上のため、防災訓練に尽力されるなど、その職責を果たし、地域防災に貢献されました。

社会功労

坂本 さとみさん
札内あかしや町（62歳）



平成7年2月の女性消防団設立当初から、25年有余の永きにわたり消防団員としての重責を自覚し、自ら研鑽努力を惜しまず、町民の生命、身体及び財産の保護に努めるとともに、高齢者の防火及び防災意識の向上を目指し、啓発活動に尽力されるなど、その職責を果たし、地域防災に貢献されました。

幕別町功労賞

忠類ナウマン象化石発掘50周年記念事業 第2弾！

今から50年前の1970年6月、全国から研究者や学生など約170人が集結し、忠類ナウマン象化石の本格発掘調査が実施されました。この発掘調査により、日本で初めてほぼ1頭分のナウマン象化石が発掘されたことから大ニュースになり、見物客が連日約1000人訪れ、人口3000人の忠類村（当時）は村始まって以来の大賑わいとなりました。このように忠類ナウマン象化石が発掘されて50年になることから、当時を振り返り、忠類ナウマン象の学術的価値と歴史を再確認し、さらなる文化発展と地域振興を目的として記念事業を開催いたします。

特別展 ナウマン象化石の復元骨格と現生アジア象の骨の比較展示

約1万5千年前に絶滅したとされるナウマン象と札幌市円山動物園などで見ることができる現生のアジア象は、どこが似ていてどこが違うのでしょうか。ルーツをさかのぼると、この2種類の象の祖先は同一で、大きさもかなり近く、兄弟のような近縁種とされています。

今回の特別展では、足寄動物化石博物館で所蔵するアジア象の骨を1頭分まるごと借用して、忠類ナウマン象の化石模型との比較展示を行います。

この機会にご自身の目で、2種類の象の違いを発見してみたいはいかがでしょうか。



会 場：忠類ナウマン象記念館（忠類白銀町 383-1）
期 間：10月3日⑤～11月3日⑥ 午前9時～午後5時
※期間中は休館日なし
入館料：一般 300 円、小・中学生 200 円

同時開催！

【あれから半世紀・・・新聞記事で振り返る化石発見・発掘当時の回顧展】

当時の新聞記事を見ると、いかに大発見であったかがわかります。また発掘に沸いた忠類村の状況も伝わってきます。

【町内小中学生の象の絵作品展】

子どもたちが描いたナウマン象やアジア象、未来の象など、さすがと思う力作がたくさんあります。

【発掘 50 周年記念寄稿文の展示】

50 年前の発掘に携わった方、発掘現場を見学された方などのナウマン象への熱い思いが伝わってきます。

足跡化石発掘プロジェクト ～ナウマン象の足跡化石発掘調査～

忠類ナウマン象化石の発見地では、北海道で唯一、足跡化石も見つかっています。

今回は昨年発見した2つの足跡の進行方向をもとに追跡調査を行います。

複数の足跡が見つかれば、群れで歩いていた様子などが復元できるかもしれません。

発掘調査中は、現地で発掘調査員などから状況のご説明をすることは難しいですが、来年2月に発掘調査報告会の開催を予定しております。

場 所：ナウマン象化石発掘現場（忠類中当） ※見学可能
期 間：10月19日⑥～22日⑦、26日⑧～28日⑨

この事業は公益財団法人北海道市町村振興協会（サマージャンボ宝くじの収益金）の助成を受けて実施しています。



ナウマン象の本物の化石がやってきた！ 里帰り展示が好評開催中！

忠類ナウマン象化石は北海道博物館に収蔵されていますが、今回は2点を借用して町内2会場で展示中です。めったに見ることができない本物のナウマン象の化石を、ご自身の目で確かめてみてはいかがでしょうか。多くの皆様にご覧いただきたいことから、今回は初めて忠類以外でも展示しましたので、この機会をお見逃しなく！

【幕別町百年記念ホール ロビー】

期 間：11月3日④まで 午前9時～午後9時30分

内 容：前足の骨（尺骨）の化石1点（長さ68cm：1970年に発見）

入場料：無料

休館日：火曜日



←前足の骨の化石
（百年記念ホール展示）

【忠類ナウマン象記念館 主展示室】

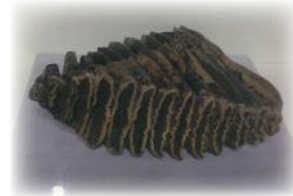
期 間：11月3日④まで 午前9時～午後5時

内 容：臼歯の化石1点（大きさ約20cm：1969年に道路工事現場で偶然発見）

入館料：一般 300 円、小・中学生 200 円

休館日：火曜日（祝日は開館し翌日が休館日となります。）

特別展開催期間中 10/3～11/3 は休館日がありません



↑臼歯の化石
（ナウマン象記念館展示）

ホンヤミカコ オカリナコンサート&ワークショップ 「オカリナとナウマン象の出会い 12万年の時を越えて・・・」

日本の女性オカリナ奏者の第一人者と言われるホンヤミカコさんを忠類ナウマン象記念館に招いて、ナウマン象化石発掘50周年記念コンサートを開催します。

迫力あるナウマン象の復元骨格を囲んで、鉄筋コンクリート造のドームの独特の反響の中で、オカリナと伴奏のハーブの柔らかな音色をお楽しみください。

公演は新型コロナウイルス感染症対策に十分配慮して実施いたします。

【コンサート】70名限定

日 時：10月10日④ 開場：午後5時30分 開演：午後6時

会 場：忠類ナウマン象記念館 主展示室

※演奏予定曲目は、①コンドルは飛んでいく ②大空と大地の中で ③ソーラン節 ほかです。

※料金は無料ですが、入場整理券（70枚）を次の3カ所で配布中ですので、コンサート希望の方は事前にお受け取りください。

・役場住民生活課 ・札内支所 ・忠類総合支所 生涯学習係

※入場整理券の配布状況は、事前に電話でお問い合わせすることができます。

確認したい方は、忠類総合支所 生涯学習係（☎8-2201）までお問い合わせください。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、入場整理券配布時にお名前、連絡先を記入していただきます。

※入場者数を制限するため、入場整理券をお持ちでない方の入場はお断りさせていただきます。

※入場の際は必ずマスクの着用をお願いするとともに、当日、体調の悪い方の入場はご遠慮いただきます。

※コンサート入場整理券は残りわずかのため、お早めに！



↑ホンヤミカコさん

【ワークショップ】先着15名限定

コンサート終了後に行うホンヤミカコさんによるオカリナワークショップは、申込者が予定数に達したため受付を終了しましたので、ご了承ください。